

VFM 簡易計算ソフトの更新について

VFM 簡易計算ソフトを以下の点について更新しましたのでお知らせします。

- ① 算定結果シートの公的財政負担の削減結果の囲み内において、PFI を導入した場合に、公共が民間に支払うサービスの対価 ○○○千円／年の○○○に年当りではなく事業期間計の数字が入っていたため「／年」を削除しました。
- ② PFI-LCC シート内にはアドバイザー費用等の欄がありましたが、入力フォームに入力欄がありませんでした。このため、入力フォーム 2 で建設期間 SPC 運営費用とアドバイザー費用等を分けて入力できるよう修正し、基本入力情報シートの支出項目欄でも分けて表示されるように修正しました。
- ③ 「はじめに」の「(1)本ツールで単純化または省略している点」に維持管理段階で保険費用等を費目として計上する場合は、別途入力項目としては設定していないため、維持管理費用に加算して入力すべき旨の記述を追加しました。
- ④ 基本入力情報シートのセルの色分け凡例と、デフォルト値の入るセルの一部について、青→緑に修正しました。
- ⑤ 操作メモの「3. 基本条件(フォーム1)の入力」の文章表現を修正しました。
- ⑥ 資金調達方法の「地方債」については、これまでは公共自ら実施する場合と、PFI 実施の場合の 2 通りの入力が可能となっていました。実際の計算では、PFI 実施の場合の「地方債」の欄に入力があっても、その値が PFI-LCC シートに反映していませんでした。このため、PFI 実施の場合も「地方債」を反映した計算がなされるよう修正しました。